

Ⅳ サンファン試験農場

(1) 陸稲品種比較試験

a. 収量及び特性についての調査

1977年度

サンファン試験場 村上

目的	サンファン移住地に適した高収量高品質の品種を選定する。
計画	<p>1. 供試品種： 6品種 (SATURN, IR-665, CICA-6, CICA-9, NAYLAMP BLUE BONNET)</p> <p>2. 1区 10m<sup>2</sup> 50cm条播、乱塊法6反復</p> <p>3. 播種日 10月31日</p>
成果	<p>1. 精収率について品種間に有意な差が認められた(1%)</p> <p>(イ) CICA-9, CICA-6, NAYLAMP と SATURN IR-665, BLUE BONNET との間に有意な差が認められた。</p> <p>2. 1976年度同様、精収率についてCICA系統品種及びNAYLAMPが他の品種に較べ3倍～2倍の収量差が認められることから、この3品種を第2次選抜品種とする。</p>
今後の問題点	栽培様式の検定

1977 年度の試験条件および主要成績 具体的数字	主要成果の 具体的データ	① 品種の特性																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>品 種</th> <th>生育日数</th> <th>草 丈 cm</th> <th>穂 数 本/m<sup>2</sup></th> <th>精切重 g/m<sup>2</sup></th> <th>籾 の 長(mm)</th> <th>籾 の 巾(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SATURN</td> <td>123.8</td> <td>127.6</td> <td>95</td> <td>124</td> <td>897</td> <td>2.42</td> </tr> <tr> <td>IR-665</td> <td>119.0</td> <td>124.5</td> <td>59</td> <td>122</td> <td>1043</td> <td>2.56</td> </tr> <tr> <td>CICA-6</td> <td>125.2</td> <td>84.2</td> <td>146</td> <td>302</td> <td>954</td> <td>2.72</td> </tr> <tr> <td>CICA-9</td> <td>139.7</td> <td>120.9</td> <td>118</td> <td>334</td> <td>983</td> <td>2.57</td> </tr> <tr> <td>BLUE BONNET</td> <td>131.2</td> <td>150.8</td> <td>87</td> <td>124</td> <td>960</td> <td>2.45</td> </tr> <tr> <td>NAYLAMP</td> <td>147.3</td> <td>99.3</td> <td>160</td> <td>276</td> <td>988</td> <td>2.64</td> </tr> </tbody> </table>	品 種	生育日数	草 丈 cm	穂 数 本/m <sup>2</sup>	精切重 g/m <sup>2</sup>	籾 の 長(mm)	籾 の 巾(mm)	SATURN	123.8	127.6	95	124	897	2.42	IR-665	119.0	124.5	59	122	1043	2.56	CICA-6	125.2	84.2	146	302	954	2.72	CICA-9	139.7	120.9	118	334	983	2.57	BLUE BONNET	131.2	150.8	87	124	960	2.45	NAYLAMP	147.3	99.3	160	276	988	2.64
		品 種	生育日数	草 丈 cm	穂 数 本/m <sup>2</sup>	精切重 g/m <sup>2</sup>	籾 の 長(mm)	籾 の 巾(mm)																																											
SATURN	123.8	127.6	95	124	897	2.42																																													
IR-665	119.0	124.5	59	122	1043	2.56																																													
CICA-6	125.2	84.2	146	302	954	2.72																																													
CICA-9	139.7	120.9	118	334	983	2.57																																													
BLUE BONNET	131.2	150.8	87	124	960	2.45																																													
NAYLAMP	147.3	99.3	160	276	988	2.64																																													
② 精切重の分散分析表																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>要 因</th> <th>偏差平方年</th> <th>自 由 度</th> <th>平均平方</th> <th>F 値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品 種 間</td> <td>303148</td> <td>5</td> <td>60630</td> <td>41.1**</td> </tr> <tr> <td>プ ロ ッ ク 間</td> <td>14696</td> <td>5</td> <td>2939</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>誤 差</td> <td>36867</td> <td>25</td> <td>1475</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全 体</td> <td>354711</td> <td>35</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	要 因	偏差平方年	自 由 度	平均平方	F 値	品 種 間	303148	5	60630	41.1**	プ ロ ッ ク 間	14696	5	2939	2.0	誤 差	36867	25	1475		全 体	354711	35																												
要 因	偏差平方年	自 由 度	平均平方	F 値																																															
品 種 間	303148	5	60630	41.1**																																															
プ ロ ッ ク 間	14696	5	2939	2.0																																															
誤 差	36867	25	1475																																																
全 体	354711	35																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>品 種</th> <th><math>\bar{X}</math></th> <th><math>\bar{X}-122</math></th> <th><math>\bar{X}-124</math></th> <th><math>\bar{X}-124</math></th> <th><math>\bar{X}-276</math></th> <th><math>\bar{X}-302</math></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CICA-9</td> <td>334</td> <td>212*</td> <td>210*</td> <td>210*</td> <td>58</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>CICA-6</td> <td>302</td> <td>180*</td> <td>178*</td> <td>178*</td> <td>26</td> <td></td> </tr> <tr> <td>NAYLAMP</td> <td>276</td> <td>154*</td> <td>152*</td> <td>152*</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SATURN</td> <td>124</td> <td>2</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>BLUE BONNET</td> <td>124</td> <td>2</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>IR-665</td> <td>122</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	品 種	$\bar{X}$	$\bar{X}-122$	$\bar{X}-124$	$\bar{X}-124$	$\bar{X}-276$	$\bar{X}-302$	CICA-9	334	212*	210*	210*	58	32	CICA-6	302	180*	178*	178*	26		NAYLAMP	276	154*	152*	152*			SATURN	124	2	0				BLUE BONNET	124	2	0				IR-665	122							
品 種	$\bar{X}$	$\bar{X}-122$	$\bar{X}-124$	$\bar{X}-124$	$\bar{X}-276$	$\bar{X}-302$																																													
CICA-9	334	212*	210*	210*	58	32																																													
CICA-6	302	180*	178*	178*	26																																														
NAYLAMP	276	154*	152*	152*																																															
SATURN	124	2	0																																																
BLUE BONNET	124	2	0																																																
IR-665	122																																																		
1978 年度の試験計画	ねらい所	CICA系統、IR系統品種について再度検定																																																	
	研究計画	耐病性、収量、各試験																																																	

(2) 大豆品種比較試験

a. 収量及び特性についての調査

1977年度

サンファン試験場 村上

目的	サンファン移住地に適した高収量、高品質の品種を選定する。
計画	<p>1. 供試品種： 6品種 (MANDARIN, YELLOW BILOXI, PELICAN— —COLOMBIANO, JUPITER, DARE, COLOMBIA)</p> <p>2. 1区 10 m<sup>2</sup> 畦間 50cm 条播 乱塊法6反復</p> <p>3 播種日 11月14日</p>
成果	<p>1. 収量においては品種間に有意差が認められたが(5%)それは MANDARIN JUPITER と PELICAN 種の間でありその他の組合せによる収量差の有意差は認められなかった。</p> <p>2. a 当り収量は各品種とも 20 Kg を割った。当試験場の地力が著しく低いこともあるが、過去の特性試験から各品種とも現状の栽培様式では平均 20 Kg/Ω が限界かも知れない。</p> <p>3 100粒重については 20 g 以上の重量があったのは DARE のみであった。PELICAN 種を除き他の品種はすべて 20 g 以上を記録したことはあるが、大体において各品種とも 15~20 g が平均値であろうと思われる。</p>
今後の問題点	栽培様式(播種適期・栽植密度)を検討する必要がある。

1977  
年度の試験条件および主要成績  
具体的な数字

主要成績の具体的な数字

① 各品種の特性

品 種	主 茎 (cm)	茎 太 (mm)	最下着菱 節位高(cm)	a当収量 (Kg)	100粒重 (g)	屑粒率 (%)
MANDARIN	98.4	8.0	14.5	19.9	15.4	5.4
YELLOW BILOXI	160.9	8.4	16.4	16.9	15.5	3.5
DARE	123.7	8.5	13.4	18.9	22.9	6.0
COLOMBIA	141.3	9.4	19.1	17.2	17.7	5.0
PELICAN COLOMBIANO	112.1	9.1	11.8	15.9	14.4	6.2
JUPITER	68.9	9.2	18.7	19.8	18.3	1.5

② 子実収量の分散分析表

要 因	偏差平方和	自 由 度	平均平方	F 値
品 種 間	8.3	5	1.66	3.55*
ブ ロ ッ ク 間	2.4	5	0.48	1.02
誤 差	11.7	25	0.47	
全 体	22.4	35		

③ 子実収量平均値の比較

品 種	$\bar{X}$	$\bar{X}-15.9$	$\bar{X}-16.9$	$\bar{X}-17.2$	$\bar{X}-18.9$	$\bar{X}-19.8$
MANDARIN	19.9	4.0*	3.0	2.7	1.0	0.1
JUPITER	19.8	3.9*	2.9	2.6	0.9	
DARE	18.9	3.0	2.0	1.7		
COLOMBIA	17.2	1.3	0.3			
YELLOW BILOXI	16.9	1.0				
PELICAN COLOMBIANO	15.9					

1978  
年度の試験計画

ねらい所  
研究計画

奨励品種の確立

(1) 同品種による再試験

V スエバ・エスペランサ畜産試験農場

(1) 牧草の品種比較に関する試験

1975～1977年度

スエバエスペランサ試験場 青山

目的	オキナワ移住地に適した牧草を選定するための基礎資料を得る。
計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ポリビア国で一般的な牧草およびブラジル、パラグアイから導入した牧草等10品種を供試する。</li> <li>2 あらかじめ刈取草丈を決定しておき、その高さに生育すると収穫し生草重を測定する。</li> <li>3. 収量および刈取回数から乾期(5月～10月)、雨期(11月～4月)に分けた1日当りの生草生産量を算出し、品種間の差異および年による変化を検討する。</li> </ol>
成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生草の生産量について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 主効果、品種 場所とも乾期、雨期、年平均についていずれも危険率1%以下で有意差が認められた。</li> <li>(2) 第1階級の交互作用についても品種一年について危険率1%以下で有意差があった。</li> <li>(3) オキナワ移住地で最も一般的に使われているエルパギネアと比較すると                 <ol style="list-style-type: none"> <li>(i) 乾期においてブラッキヤリアとカッピンゴルドーラが5%の水準で有意となったが、カッピンゴルドーラは1年目の高収量が大きく影響していることによると思われるためブラッキヤリアが乾期用の牧草として有望視される。</li> <li>(ii) 雨期および年平均においてはメルケロンがそれぞれ0.01および0.001の水準で有意差があり、収量的にはメルケロンが最も良いといえるが、メルケロンの場合、放牧すると絶えてしまうという欠点があるため刈取給餌またはサイレージ等による利用を図る必要がある。</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>2 刈取回数について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 乾期において年度の違いによる差が0.001の水準で有意。</li> <li>(2) 雨期において品種の違いによる差が0.01の水準で有意。</li> <li>(3) 年計において品種、年度とも0.001の水準で有意。</li> </ol> </li> <li>3. 収量、刈取回数とも年を経るにしたがって減少しており、降雨量は乾期においては減少しているが、雨期および年計ではかならずしも減少しているとはいえず、したがってこの原因か地力の減退によるものと思われる。</li> </ol>
今後の問題点	<p>上記3で年による収量等の減少の原因を地力の減退としたが、その減り方があまりにも急激なため、これ以外に乾期における雨量の少なさによる被害か雨期においてさえ完全に回復しきっていなかったということも考えられ、乾期に適当な雨が合った場合どうなるか、また場所による差が相当大きいのが今後ともこのような傾向が続くかどうかについても継続して調べて行く必要がある。</p>

1977 年度の試験条件および主要成績の具体的なデータ	試験条件の数字	1 試験区は1品種につき1ブロック30㎡(6m×5m)を3ブロック、ランダムに配置し、ブロック内20㎡(5m×4m)を刈取調査した。 2 品種および刈取草丈は次のとおりとした。 Bafalo, Buffer, Brachiaria : 70cm, Salina : 80cm, Capin Gordura : 90cm, Setaria, Siemple verde : 100cm, Panico verde : 120cm, Hierba Guinea, Merkeron : 150cm.																			
	主要成績の具体的なデータ	1日当り生草生産量 (品種一年) 単位: Kg/ha																			
		品 種	乾 期				雨 期				年 平 均										
			1年	2年	3年	平均	1年	2年	3年	平均	1年	2年	3年	平均							
		セタリア	162.5	67.8	59.2	96.5	250.0	117.8	195.7	187.8	202.2	103.3	98.3	134.6							
		バッファロ	109.7	44.3	40.5	64.8	167.7	106.8	139.7	138.1	147.8	80.3	74.0	100.7							
		ブッフユル	91.5	45.5	49.8	62.3	151.2	114.2	148.5	137.9	130.7	90.5	85.7	102.3							
		ブラッキヤリア	171.5	114.3	77.2	121.0	249.7	153.0	146.0	182.9	206.5	125.8	105.0	145.8							
		カピゴルドゥラ	224.0	86.2	32.0	114.1	274.8	184.0	166.2	208.3	263.8	119.3	65.7	149.6							
		サリーナ	155.0	91.0	28.3	91.4	362.7	236.7	198.3	265.9	244.2	165.7	116.8	175.6							
メルクロン		159.2	74.3	54.2	95.9	541.8	273.0	255.5	356.8	338.0	192.3	168.8	233.1								
パニコベルデ		52.7	68.5	44.5	55.2	242.0	166.7	165.7	191.4	173.7	115.2	98.3	129.1								
シェンプレベルデ		83.3	44.5	57.0	61.6	170.2	70.5	87.2	109.3	118.0	64.7	68.2	83.6								
エルバギネア		97.0	26.8	40.3	88.1	467.8	212.5	141.3	273.9	225.3	160.0	110.5	165.3								
平均		130.6	76.3	48.3	85.1	287.8	163.5	164.4	205.2	205.0	121.7	99.1	141.9								
1日当り生草生産量 (場所一年) 単位: Kg/ha																					
区	乾 期				雨 期				年 平 均												
	1年	2年	3年	平均	1年	2年	3年	平均	1年	2年	3年	平均									
I 区	142.9	88.9	65.0	98.9	355.3	206.6	209.6	257.2	239.2	152.8	128.7	173.6									
II 区	123.2	67.7	39.5	76.8	266.1	136.8	120.9	174.6	189.6	105.2	76.8	123.9									
III 区	125.9	72.5	40.5	79.6	263.7	136.0	152.3	184.0	186.3	107.2	92.0	128.5									
刈取回数(品種一年) 単位: 回																					
品 種	乾 期				雨 期				年 間												
	1年	2年	3年	平均	1年	2年	3年	平均	1年	2年	3年	平均									
セタリア	2	1	1	1.3	2	3	2	2.3	4	4	3	3.7									
バッファロ	2	1	2	1.7	4	3	3	3.3	6	4	5	5.0									
ブッフユル	2	1	2	1.7	4	3	3	3.3	6	4	5	5.0									
ブラッキヤリア	2	1	1	1.3	2	3	2	2.3	4	4	3	3.7									
カピゴルドゥラ	3	2	2	2.3	3	2	2	2.3	6	4	4	4.7									
サリーナ	3	2	1	2.0	4	4	4	4.0	7	6	5	6.0									
メルクロン	2	1	1	1.3	3	3	3	3.0	5	4	4	4.3									
パニコベルデ	2	2	2	2.0	3	2	2	2.3	5	4	4	4.3									
シェンプレベルデ	3	1	2	2.0	3	4	2	3.0	6	5	4	5.0									
エルバギネア	2	2	1	1.7	2	2	2	2.0	4	4	3	3.7									
平均	2.3	1.4	1.5	1.7	3.0	2.9	2.5	2.8	5.3	4.3	4.0	4.5									
1978 年度の試験計画	研究計画	雨量表	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>1975~1975</td> <td>1976~1977</td> <td>1977~1978</td> </tr> <tr> <td>乾期(5月~10月)</td> <td>531.0</td> <td>405.5</td> <td>232.2</td> </tr> <tr> <td>雨期(11月~4月)</td> <td>536.6</td> <td>967.6</td> <td>652.2</td> </tr> <tr> <td>年間(5月~4月)</td> <td>1067.6</td> <td>1373.1</td> <td>884.4</td> </tr> </table>				1975~1975	1976~1977	1977~1978	乾期(5月~10月)	531.0	405.5	232.2	雨期(11月~4月)	536.6	967.6	652.2	年間(5月~4月)	1067.6	1373.1	884.4
			1975~1975	1976~1977	1977~1978																
		乾期(5月~10月)	531.0	405.5	232.2																
		雨期(11月~4月)	536.6	967.6	652.2																
年間(5月~4月)	1067.6	1373.1	884.4																		
単位: mm																					
そのまゝ継続。																					

(2) 綿の品種比較に関する試験

ヌエパエスブランサ試験場

1977年度

青山

目的	現在ポリビア国で一般的に栽培されているアメリカ合衆国での育成品種ストンビルとブラジル、パラグアイ等近隣諸国において優良とされている南半球での育成品種を比較検討する。
計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 供試品種はストンビルから825号、213号、256号の3品種に、ブラジルから入手したIAC-17、IAC-18、パラグアイから入手したReba B-50の6品種とする。</li> <li>2. 開摘時、降雨に合う前に収穫し、その重量と個数を測る。</li> <li>3. 収穫終了後草丈と結果枝数を測定する。</li> <li>4. 現在オキナワ移住地で最も多く栽培されているストンビル256号を対照として比較検討する。</li> </ol>
成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 収量について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 品種の違いによる差に1%。区の違いによる差に5%の水準で有意差が認められた</li> <li>(2) Reba B-50およびIAC-18が繰綿歩合30%としてha当りのキンタール46kg)量に換算すると、前者が22.48g/ha、後者が20.71g/haと20g/haを超える高収量を記録した。</li> <li>(3) 対照品種(ストンビル256号)との比較ではReba B-50が1%、IAC-18が5%の水準で有意であった。</li> </ol> </li> <li>2. 個数について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 区については5%の水準で有意。</li> <li>(2) 品種については有意差が認められなかったが対照品種との比較ではReba B-50が5%の水準で有意であった。</li> </ol> </li> <li>3. 実綿1個当りの重量について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 品種に5%の水準で有意差があった。</li> <li>(2) 対照品種との比較ではIAC-18が5%の水準で有意であった。</li> </ol> </li> <li>4. 草丈について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 品種、区とも5%の水準で有意差があった。</li> <li>(2) 対照品種との比較ではIAC-18が1%の水準で有意差があった。</li> </ol> </li> <li>5. 結果枝数についてはどれについても有意差は認められなかった。</li> </ol>
今後の問題点	<p>Reba B-50は当該試験でも最多収量を記録したが全コロニアの綿作面積1,400haのうち20haづつ5ヶ所合計100haが試作された結果、最高26.74g/ha、最低18g/haで100haの平均でも20.25g/haという高収をあげた。ストンビル1,300haの平均は13.54g/ha)しかしながら当該年度は比較的雨も少なく棉木の伸びもそれほど高くなかったがそれでも場所によっては2m以上の伸び、消極に支障をきたしたところもあり、雨が多い年だと生育旺盛なReba B-50場合伸びすぎる可能性もある。</p> <p>次年度はよりあきす50%程度にまでおるよう指導しているが、綿作者は革命的な綿登るといふ期待が大きく、作付希望面積2,200haの80%はReba B-50の作付望んでいる現状がある。したがってReba B-50がオキナワ移住地綿作振興の真のきめてになるかどうか、当該試験の結果ばかりではなく極端に土質を異にする農家の綿についても細かく観察して行く必要がある。</p>

試験条件の数字

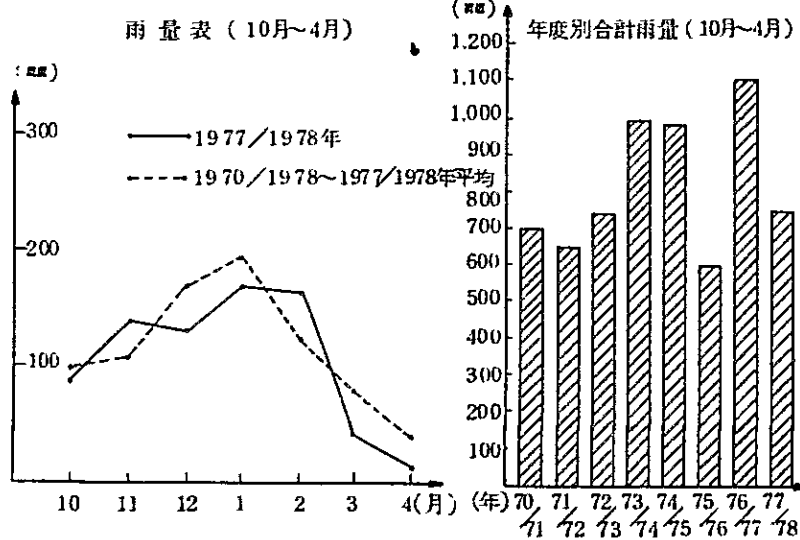
1. 試験区は1品種につき1ブロック24m<sup>2</sup>(4m×6m)の2区制とした。全区無肥料。
2. 畦巾および株間は100cm×20cmとした。
3. 10月28日除草剤(テレフレックス)を散布、ハローかけた後10月31日に播種した。
4. 中耕除草5回、殺虫剤散布16回。
5. 第1回収穫3月21・22日、第2回収穫4月3日、第3回収穫4月28日。

1977年度試験条件および主要成績具体的な数字

主要成績の具体的な数字

品 種	実綿 ha 当り収量 (kg)				ha 当り収穫個数 (個)		
	I 区	II 区	平均	繰綿(%)	I 区	II 区	平均
IAC-18	3,072	3,278	3,175	2071	466,111	496,111	481,111
IAC-17	2,561	2,611	2,586	1687	468,889	467,778	468,333
Reba B-50	3,028	3,867	3,447	2248	572,222	752,778	662,500
ストンビル825	1,717	2,300	2,008	1310	369,444	568,889	469,167
ストンビル213	2,128	2,733	2,431	1585	464,444	604,444	534,444
ストンビル256	2,467	2,589	2,528	1649	491,667	505,000	498,333
平均	2,495	2,896	2,696	17.58	472,130	565,833	518,981

品 種	実綿1個当り重量(g)			綿木1本当り草丈(cm)			綿木1本当り結果枝数(個)		
	I 区	II 区	平均	I 区	II 区	平均	I 区	II 区	平均
IAC-18	6.59	6.60	6.60	99.0	104.1	101.6	12.4	10.7	11.6
IAC-17	5.46	5.58	5.52	83.8	84.1	84.0	11.6	10.6	11.1
Reba B-50	5.29	5.13	5.21	85.1	96.4	90.8	11.9	13.9	12.9
ストンビル825	4.64	4.04	4.34	64.2	80.1	72.2	8.8	12.2	10.5
ストンビル213	4.58	4.52	4.55	56.9	81.7	69.3	8.6	12.0	10.3
ストンビル256	5.01	5.12	5.07	67.6	84.9	76.3	11.6	12.1	11.9
平均	5.26	5.17	5.21	76.1	88.6	82.3	10.8	11.9	11.4



1978年度試験計画

研究計画

新しくパラグアイから導入した種子RP-279 (Reba B-50×デルタイン)を加え7品種による比較を継続実施する。



(3) 縮に対する施肥および敷草に関する試験

ヌエパエスベランサ試験場

1977年度

青山

目的	葉面散布肥料および敷草が綿木の生育、収量におよぼす効果について知る。
計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 供試品種は現在コロニアで最も一般的なストンビル256号とする。</li> <li>2 尿素の葉面散布区、敷草区、敷草+葉面散布区と対照区として無処理区を設定する。</li> <li>3 開蒔時降雨に合ひ前に収穫し、その重量を測定する。</li> <li>4 収穫終了後草丈と結果枝数を測定する。</li> </ol>
成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 収量については2区の平均で 施肥+敷草区が最も多く次いで施肥区、敷草区、無処理区の順となり若干の差はあったが有意差は認められなかった。</li> <li>2. 1本当りの草丈および結果枝数については全く有意差が認められなかった。</li> </ol>
今後の問題点	<p>敷草する時期および敷草の厚さを変えてみる必要がある。</p> <p>葉面散布肥料を尿素だけでなくN.P.K.を配合したものを散布する。</p>

1977 年度の試験条件および主要成績の具体的なデータ	試験条件の数字	1. 試験区は1生区につき1ブロック24㎡(4m×6m)の2区制とした。 2. 畦巾および株間は100cm×20cm、10月31日に播種した。 3. 敷草はエルバギネアを発芽1ヶ月後(12月19日)に厚さ10cmに敷いた。 4. 葉面散布肥料は尿素を薬剤散布時混入し、1回当たり1.5kg/haの割合で2回(1月12日、1月17日)散布した。 5. 殺虫剤散布16回、収穫(3月22日、4月3日、4月28日)																																																																											
	主要成績の具体的なデータ	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">処 理 区</th> <th colspan="4">実綿ha当り収量 (kg)</th> <th colspan="3">綿木1本当り草丈 (cm)</th> <th colspan="3">綿木1本当り結果枝数 (本)</th> </tr> <tr> <th>I区</th> <th>II区</th> <th>平均</th> <th>繰綿<sup>(g)</sup><sub>ha</sub></th> <th>I区</th> <th>II区</th> <th>平均</th> <th>I区</th> <th>II区</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施 肥 区</td> <td>2,511</td> <td>3,094</td> <td>2,803</td> <td>1,828</td> <td>69.2</td> <td>85.9</td> <td>77.6</td> <td>10.5</td> <td>12.8</td> <td>11.7</td> </tr> <tr> <td>施肥+敷草区</td> <td>2,828</td> <td>2,839</td> <td>2,833</td> <td>1,848</td> <td>75.6</td> <td>78.5</td> <td>77.1</td> <td>10.8</td> <td>11.4</td> <td>11.1</td> </tr> <tr> <td>敷 草 区</td> <td>2,583</td> <td>2,794</td> <td>2,689</td> <td>1,754</td> <td>76.4</td> <td>79.1</td> <td>77.8</td> <td>10.8</td> <td>11.4</td> <td>11.1</td> </tr> <tr> <td>無 処 理 区</td> <td>2,283</td> <td>2,872</td> <td>2,578</td> <td>1,681</td> <td>69.5</td> <td>75.1</td> <td>72.3</td> <td>11.4</td> <td>10.4</td> <td>10.9</td> </tr> <tr> <td>平 均</td> <td>2,551</td> <td>2,900</td> <td>2,726</td> <td>1,778</td> <td>72.7</td> <td>79.7</td> <td>76.2</td> <td>10.9</td> <td>11.5</td> <td>11.2</td> </tr> </tbody> </table>	処 理 区	実綿ha当り収量 (kg)				綿木1本当り草丈 (cm)			綿木1本当り結果枝数 (本)			I区	II区	平均	繰綿 <sup>(g)</sup> <sub>ha</sub>	I区	II区	平均	I区	II区	平均	施 肥 区	2,511	3,094	2,803	1,828	69.2	85.9	77.6	10.5	12.8	11.7	施肥+敷草区	2,828	2,839	2,833	1,848	75.6	78.5	77.1	10.8	11.4	11.1	敷 草 区	2,583	2,794	2,689	1,754	76.4	79.1	77.8	10.8	11.4	11.1	無 処 理 区	2,283	2,872	2,578	1,681	69.5	75.1	72.3	11.4	10.4	10.9	平 均	2,551	2,900	2,726	1,778	72.7	79.7	76.2	10.9	11.5
処 理 区	実綿ha当り収量 (kg)				綿木1本当り草丈 (cm)			綿木1本当り結果枝数 (本)																																																																					
	I区	II区	平均	繰綿 <sup>(g)</sup> <sub>ha</sub>	I区	II区	平均	I区	II区	平均																																																																			
施 肥 区	2,511	3,094	2,803	1,828	69.2	85.9	77.6	10.5	12.8	11.7																																																																			
施肥+敷草区	2,828	2,839	2,833	1,848	75.6	78.5	77.1	10.8	11.4	11.1																																																																			
敷 草 区	2,583	2,794	2,689	1,754	76.4	79.1	77.8	10.8	11.4	11.1																																																																			
無 処 理 区	2,283	2,872	2,578	1,681	69.5	75.1	72.3	11.4	10.4	10.9																																																																			
平 均	2,551	2,900	2,726	1,778	72.7	79.7	76.2	10.9	11.5	11.2																																																																			
1978 年度の試験計画	ねらい所	敷草が線虫密度を減らし、その結果綿木の生育がよくなるかどうかをみる。 市販されている葉面散布肥料の効果をみる。																																																																											
	研究計画	敷草の厚さを20cmとし発芽3週間前後に行ない継続実施する。																																																																											

昭和53年度試験研究課題  
(長期総合試験研究計画を含む)



長期総合研究計画表

パラグアイ農業総合試験場

研究目標(目的・内容)	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
集約的肉牛専業経営の技術 体系確立	I. 牧草の栽培管理技術体系 確立に関する試験	1. 品種の特性解明に関する 試験 2 牧草の栽培方法に関する 試験	1 耐寒性等に関する試験 2 節圧の影響に関する試験 1 刈取草高と収量に関する 試験 2 密度と収量に関する試験 3 施肥効果に関する試験 4 草種間の競合に関する試 験		79~84 80~83 77~87 80~83 83~ 80~82	
	II 肉牛の飼養管理技術体系 確立に関する試験	1 飼養方法に関する試験 2 飼料に関する試験	1. 輪牧放牧に関する試験 2 庇陰処理効果に関する試 験 3 放牧強度と植生に関する 試験 4 病虫害に関する試験 1 踏好性に関する試験 2 サイレージ調製に関する 試験		78~87 77~80 83~ 77 77~78 77~82	

パラグアイ農業総合試験場

研究目標(目的・内容)	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
養蚕技術体系の確立	1. 桑栽培標準技術体系確立に関する試験	1 桑品種選定に関する試験	1 現地桑適心比較試験 2 日本桑適心比較試験		77~79 77~79	
		2 桑葉種(桑園造成)方法に関する試験	1. 日本桑のさし木可能品種選定に関する試験 2 日本桑のさし木活着効率化に関する試験		76~77 78~79	
		3. 桑園設定に関する試験	1 桑収穫法別桑園設置基準確立に関する試験 2. 生育期間を異にした桑葉の飼料価値比較試験 3. 日本桑と現地桑の栽植比率基準確立に関する試験		78~79 78 78~79	
		4. 桑仕立、収穫法に関する試験	1. 桑の発芽ならびに発育に関する調査 2. 春切時期、伐採方法と春蚕期収穫量に関する試験 3. 春切桑と立通桑の春蚕期収量比較試験 4. 中間伐採の時期、程度に関する試験		75~ 75 75~77 75~76	

バラクアイ農業総合試験場

研究目標(目的・内容)	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
			5 収穫時の熟桑の長さや取量に関する試験 6 春切桑の年間取量の推移に関する試験 7 桑収穫用具に関する調査 8 桑収穫の入り、器具別、仕立別効率調査 9. 高刈(中刈)仕立の極低幹仕立の改良に関する試験 10 極低幹仕立の栽植密度に関する試験 11 桑刈取機の機能をらびに効率調査		77~78 75~77 76 77~78 76~78 77~79 78	
		5. 稚蚕用桑に関する試験 6 桑園災害防除に関する試験 7 桑園管理に関する試験	1. 稚蚕用桑の仕立、採葉法に関する試験 2. 稚蚕専用仕立桑の年間取量推移に関する試験 1. 桑園凍霜害対策試験 2. 古桑利用に関する試験 1 桑園地力維持に関する試験		75 76~78 78~80 77~78	

パラグアイ農業総合試験場

研究目標(目的・内容)	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
	II 雙蚕(育蚕)標準技術体系確立に関する試験	1. 桑の飼料価値比較に関する試験 2 蚕品種に関する試験 3 飼育の簡易化に関する試験 4. 蚕病防除に関する試験	1 日本桑と現地桑の飼料価値比較試験 2 惟蚕桑の飼料価値比較試験 1 南米産品種と日本産品種の比較試験 1. 飼育施設に関する試験 2. 飼育場所に関する試験 3. 給桑回数削減に関する試験		75~78 77~79 76 76~78 76~78 76~79	



ハラグラフィ農業総合試験場

研究目標(目的・内容)	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
ステビア標準栽培技術体系の確立	I 作物的特性解明に関する試験	1 時期別生育様相に関する試験	1 株分移植株の定植時期別生育試験 2 挿芽苗による定植時期別生育試験		77~79 79~80	
	II 栽培に関する試験	2 生育生理に関する試験	1 生長生理に関する試験 2 開花生理に関する試験 3 ステビアサイトに関する試験		79~80 80~81 80~82	
		1. 栽培技術に関する試験	1. 育苗に関する試験 2 定植及びその後の生育に関する試験 3 土壌管理及び施肥に関する試験 4 収穫・調製に関する試験 5. 冬期管理に関する試験 6 病虫害に関する試験		79~80 79~81 80~82 80~82 80~82 79~81	
		2 優良系統の選抜に関する試験	1 ステビアサイト高含有率系統の選抜 2 多収系統の選抜 3 耐病系統の選抜		79~ 79~ 79~	

パラグアイ農業総合試験場

研究目標(目的・内容)	人 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
テーラロンア土壤地帯における土壤保全に関する研究	I 土壤侵食(水食)に関する試験	1. 土壤流亡に関する試験	1 裸地における傾斜度別土壤流亡量調査 2 耕作地における土壤流亡量調査		77~ 78~	
	II 土壤侵食総合対策に関する試験	2 I 土壤流亡防止に関する試験	1 栽培作物による侵食防止効果試験 2 身培模式による侵食防止効果試験 3. 地形修整による侵食防止効果試験		78~ 78~ 78~	
大豆標準栽培技術体系の確立	I 大豆品種の生態的特性に関する試験	1 生態型に関する試験	1. パラグアイにおける生態型分類 2 生態型が生育様相調査 3 導入品種の生態型分類に関する試験		78~80 79~81 81~	
	II 生態型別栽培方法に関する試験	1 生態型播種時期と種密度に関する試験	1. 播種適期に関する試験 2 栽植密度に関する試験		79~81 79~81	

バラグァイ農業総合試験場

研究目標(目的・内容)	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
		2 病虫再防除に関する試験	1 牛麩的防除に関する試験 2 化学的防除に関する試験		80~83 79~83	

パ農総試アルトバラナ分場

研究目標(目的・内容)	人 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
南部パラグァイに於る作物の栽培技術体系の確立	1 大豆の栽培技術体系の確立	1 大豆品種の選定に関する試験	(1) 大豆の品種選抜に関する試験 ① 大豆の予備選抜試験 ② 大豆の第一次選抜試験 ③ 大豆の第二次選抜試験 (2) 大豆品種の分類に関する試験 ① 大豆品種の生態型別分類に関する調査		75~ 75~ 75~	
		2 大豆の栽培方法に関する試験	(1) 大豆の栽植密度に関する試験 ① 大豆の栽植密度試験 (2) 大豆根虫害の防除に関する試験 ① 大豆のカメムシに対する嗜好性調査 ② 大豆カメムシの吸害に対する抵抗性調査 ③ 大豆の根コブ線虫防除に関する試験 (3) 大豆の施肥方法に関する試験		76~78 77~79 79~82 79~82	

バニラ試験アムトバラナ分場

研究目標(目的・内容)	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
	Ⅱ 小麦の栽培技術体系の確立	1 小麦品種の選定に関する試験 2 小麦の栽培方法に関する試験	(4) 大豆の除草剤に関する試験 (1) 小麦の品種選抜に関する試験 ① 小麦の予備選抜試験 ② 小麦の第一二次選抜試験 ③ 小麦の第二二次選抜試験 (2) 小麦の育種による選抜 (1) 小麦の成種密度に関する試験 ① 小麦の播種量試験 (2) 小麦の病虫予防除に関する試験 ① 小麦諸品種の耐病性試験 ② 薬剤効果試験(殺菌剤) (3) 小麦の除草剤に関する試験 (4) 施肥方法に関する試験 ① 小麦の探検を主体とした肥効試験		75~ 75~ 75~  78~ 75~ 76~  75~78	

大豆総合試験アトバラナ分場

研究目標(目的・内容)	人	課題	中	小	試験 分類番号	期 間	備 考
輪作体系に組み入れ得る大豆を中心とした結合作物の選定	I	油料亜麻普及の可能性に関する調査	I. 油料亜麻栽培技術に関する試験	(1) 適応品種の選定に関する試験 (2) 収量調査に関する試験 (1) 亜麻の播種適期試験 (2) 亜麻の播種量試験 (3) 亜麻の病虫草害に関する調査		72~78 76~78 77~78	
	II	菜種の普及の可能性に関する調査	I 菜種の栽培技術に関する試験	(1) 菜種の適応品種の選定に関する試験 (2) 菜種の収量調査に関する試験 (1) 菜種の播種適期試験 (2) 菜種の播種量試験 (3) 菜種の病虫草害に関する調査		77~79 77~79	
	III	輪作の効果に関する試験	I 各種作物の組み合わせに関する試験	(1) 輪作が大豆の生育と収量に及ぼす影響調査 (1) 大豆を中心とした長期輪作効果試験			78~83

アマゾンニア熱帯農業総合試験場

研究目標(目的・内容)	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
<p>コロンブ根腐病の防除法の確立</p>	<p>1) コロンブ根腐病発生機構の解明に関する試験</p>	<p>根腐病発生における根腐菌の役割の解明に関する試験</p>	<p>1) 病原菌に関する試験                      ㉔1. 病原菌の分離同定に関する試験                      ㉔2. 病原菌の生理生態に関する試験</p>		77~79	
			<p>2) 発生々態に関する試験                      ㉔1. 第1次感染に関する試験                      ㉔2. 発病進展に関する試験</p>		77~81	
			<p>3) 病原菌に対する薬剤の効果試験</p>		78~82	
			<p>4) 耕種的防除に関する試験</p>		78~82	
	<p>2) 根腐病発生におけるセンチュウの役割の解明に関する試験</p>		<p>1) センチュウ相の解明に関する試験                      ㉔2. センチュウの密度抑制に関する試験                      ㉔3. センチュウの発生々態に関する試験</p>		78~79	
			76~79			
			77~82			

アマゾンニア熱帯農業総合試験場

研究目標(目的・内容)	人	課題	中課題	小課題	試験番号	期間	備考
			3. 根腐病発生環境としての土壌の特性の解明に関する試験	(1) 土壌の地温と水分に関する試験		77~81	
				(2) 土壌の理化性に関する試験		77~81	
				(3) 土壌の管理に関する試験		78~82	
	Ⅱ 抵抗性コンゴウの育成に関する試験		1. コンゴウの野生種、諸系統の遺伝的変異に関する試験	(1) コンゴウの耐病性検定に関する試験		78~81	
				(2) ネココンセンチュウ寄生性スクリーニングに関する試験		78~82	
				(1) 根腐病抵抗性コンゴウの選抜に関する試験		70~82	
コンゴウ病害の防除法の確立		Ⅲ コンゴウ枝枯病の発生機構の解明ならびに防除に関する試験		(2) センチュウ抵抗性コンゴウの育種に関する試験		77~82	
				(1) 病原菌の分離・同定に関する試験		77~78	
				(2) 病原菌の生理生態に関する試験		77~79	
			2. 発生生態に関する試験	(1) 第1次発生に関する試験		77~81	
				(2) 発病進展ならびに蔓延に関する試験		77~81	



アマゾン＝ア熱帯農業総合試験場

研究目標（目的・内容）	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
		3 防除に関する試験	(1) 枝枯病の薬剤防除試験 (2) 枝枯病の耕種防除に関する試験		77-82 78-82	

アマゾンニア熱帯農業総合試験場

研究目標(目的・内容)	人	課題	中	小	試験 分類 番号	期 間	備 考
コショウ栽培技術の改善	I コショウの生育環境造成に関する試験	1. 除草に関する試験	1. 除草に関する試験	(1) 除草の決定に関する試験		76~80	
				2) 除草の土壌環境に及ぼす影響に関する試験 (3) 除草がコショウの生育に及ぼす効果に関する試験		77~78 77~82	
	II コショウの生理に関する試験	2. 乾燥樹の決定に関する試験	2. 乾燥樹の決定に関する試験	(1) 乾燥樹の決定効果に関する試験		78~82	
				(2) 乾燥樹の生育試験		80~	
		1. コショウの生理に関する試験	1. コショウの生理障害に関する試験	(1) 要素欠乏ならびに過剰に関する試験		77~78	
			2. 水分生理に関する試験	(1) 蒸散作用と吸水作用に関する試験		78~79	
			3. 栄養ならびに繁殖生理に関する試験	(1) 養分吸収に関する試験 (2) 開花結実習性に関する試験 (3) 多収要因の解明に関する試験		78~80 78~81 77~82	
			4. コショウの組織器官形態に関する調査、形態に関する調査	(1) コショウの植物解剖学的形態特性に関する調査		77~78	

アマゾンニア熱帯農業総合試験場

研究目標(目的・内容)	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
熱帯土壌の特性調査	I 熱帯の植生環境と土壌の特性の解明		(1) 自然植生下の土壌環境 (2) 耕作土壌の環境		78~82 78~82	
	II 第2トノアスー移住地の土壌の特性		(1) 調査(分析、同定、分類) (2) 土壌図作成		78~82 77~80	

アマゾンニア熱帯農業総合試験場

研究目標(目的・内容)	人	課題	中	小	試験 分類 番号	期 間	備 考
熱帯作物の導入と定着化ならびに栽培技術の改善	I カカオの栽培法の確立に関する試験	I カカオ栽培試験	I カカオ栽培試験	(1) カカオ栽培試験		76~85	
				(1) 形態及び品質による分類調査 VERMELHO系統選抜試験		76~78 77~81	
	II マラクンジャの病害防除に関する試験	I Collar-rotの発生々態に関する試験	I Collar-rotの発生々態に関する試験	(1) 病原菌の生理に関する試験		77~78	
				(2) 発生々態に関する試験		78~79	
	IV ガラオナ栽培試験	I 安定多収系統選抜試験	I 安定多収系統選抜試験	(1) 挿木繁殖に関する試験		76~85	
				(2) 安定多収系統選抜試験		76~85	
	V オイルパームの適応性検定に関する試験	I オイルパームの適応性検定に関する試験	I オイルパームの適応性検定に関する試験	(1) オイルパームの適応性検定に関する試験		76~80	
				(2) 収量比較試験		78~79	

サンファン試験農場

研究目標(目的・内容)	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
機械化雑作における地力の維持、向上法の確立及び生産性の拡大	I. 有機質肥料の施用等による土壌改良法の確立に関する試験	1 緑肥の施用法確立に関する試験	(1) 各種緑肥作物の収集及び生育調査 (2) 植生草型等による適否試験 (3) 緑肥の肥効試験(大豆及び陸稲に対する) (4) 緑肥を輪作体系に組入れる場合の経済性について		78-82	
		2 モミガラ堆肥の利用法に関する試験	(1) モミガラ堆肥の作成法について (2) モミガラ堆肥の肥効試験 (3) その他入手可能な有機質肥料利用について		78-82	
		3 土壌の理化学的改善に関する試験	(1) 心子耕及び弾丸碎葉堀削による耕盤の生成防止及び排水性の改善効果の判定		78-82	
	II 栽培様式の改善による生産性の向上に関する試験	1 優良品種の選抜に関する試験	(1) 碎稲品種選抜試験 (2) 大豆品種選抜試験(兼作及び裏作大豆) (3) トウモロコシ品種育成試験		78-82	

サンフランシスコ試験農場

研究目標(目的・内容)	人	課題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
新作物の導入、開発	I. マカダミアナッツの普及に関する試験		2 移住地に適した水田備作 栽培の確立に関する予備試 験	(1) 乾田直播法による実験栽 培 (2) 移植法による実験栽培		79~83	
			3 牧畜と耕作との輪作農法の 確立に関する予備試験	(1) 牧草地と短期作物との輪 換による実験栽培		79~83	
			1 マカダミアナッツの育調 査	(1) 優良母樹の選抜 (2) 経済性の検討		78~82	
			2 接木技術の確立に関する 試験	(1) 活着率調査 (2) 活着後の生育状況調査		79~81	

スエバエスベラランサラン畜産試験農場

研究目標(目的・内容)	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
オキナワ移住地における安定した綿作技術体系の確立	I 優良品種の開拓に関する試験	1. 品種比較に関する試験 2. 品種育成に関する試験	(1) 収量に関する比較検討 (2) 収獲個数に関する比較検討 (3) 繊維歩留りに関する比較検討 (4) 耐病性に関する比較検討 (5) 機械収獲に関する比較検討		77~86 77~86 79~86 78~86 78~86	
	II 栽培法の改善に関する試験	1. 播種に関する試験  2. 施肥に関する試験  3. 除草に関する試験	(1) 播種適期に関する試験 (2) 播種密度に関する試験 (3) 播種方向に関する試験 (4) 消毒道の効果に関する試験  (1) 葉面散布肥料の効果に関する試験 (2) 3要素に関する試験  (1) 除草剤の生および収穫等におよぼす効果に関する試験		78~82 79~83 78~82 78~82  77~81 79~84  77~81	

スエパエスベラサンサ畜産試験農場

研究目標 (目的・内容)	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
輪作体系の確立	Ⅱ. 病虫害防除に関する試験	1. 虫害防除に関する試験	(1) 害虫の発生予察に関する試験		79~82	
			(2) 殺虫剤の散布時期と回数に関する試験		79~82	
			(3) 殺虫剤の効果に関する試験		78~82	
		2. 病害防除に関する試験	(1) ラモローゼ病に対する薬剤の効果に関する試験		78~82	
			(2) マンノマイアグラール病に対する薬剤の効果に関する試験		78~82	
			1. 大豆に関する試験		79~83	
2. トウモロコシに関する試験	(1) 品種比較に関する試験		79~83			
	(2) 播種適期に関する試験		79~83			
	(3) 植栽密度に関する試験		79~83			
3. 緑肥作物に関する試験	(1) 品種比較に関する試験		79~83			
	(2) 播種適期に関する試験		79~83			
			(1) 播種適期に関する試験 (2) 特性調査		79~83 79~83	



ヌエバエスベランサン畜産試験農場

研究目標(目的・内容)	大 課 題	中 課 題	小 課 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考		
Ⅱ 冬作に関する試験	1 大豆に関する試験	(1) 品種比較に関する試験	(1) 品種比較に関する試験		79~83			
		(2) 播種適期に関する試験	(2) 播種適期に関する試験		79~83			
		(3) 植栽密度に関する試験	(3) 植栽密度に関する試験		79~83			
牧畜経営の技術体系の確立	1 飼料に関する試験	2. 小麦に関する試験	(1) 品種比較に関する試験		79~83			
			(2) 播種適期に関する試験		79~83			
		3 緑肥作物に関する試験	(1) 播種適期に関する試験		79~83			
			(2) 特性調査		79~83			
牧畜経営の技術体系の確立	1 飼料に関する試験	1 牧草の品種比較に関する試験	(1) 収量に関する比較検討		75~84			
			(2)刈取回数に関する比較検討		75~84			
		2 牧草の調整法に関する試験	(1) 乾草飼養に関する試験		79~83			
			(2) サイレレーノ飼養に関する試験		79~83			
		3. 配合飼料に関する試験	1) 配合飼料の乳量における効果に関する試験					

スエパエスベラノサ畜産試験農場

研究目標(目的・内容)	入 試 題	中 試 題	小 試 題	試 験 分 類 番 号	期 間	備 考
	II 牛の品種改良に関する試験	1. 肉牛の品種改良に関する試験	(1) 増体量に関する試験 (2) ダニに対する抵抗性について検討		78~87 78~87	
		2. 乳牛の品種改良に関する試験	(1) 搾乳量に関する試験 (2) ダニに対する抵抗性について検討		78~87 78~87	

国際協力事業団農業試験場  
試験成績項目索引

1 卷 1 号 (1967-1977)



## はじめに

本索引は事業団の試験場が、かつて試験、研究をおこなってきたものの中から、記録の明らかになっている試験成績書について記載したものである。

事項、年度、試験場別に分類し、それに索引番号を付したものである。

今後は年度ごとに報告された分について、本索引に追録してゆくこととしたい。

1978年11月1日

サンパウロ支部 農業情報室

( 農業技術者会議事務局 )

## 本索引の手引き

- 1 試験成績書に記載されているものでも、観察中断、または見送り、になったものについては除外した。
- 2 古い成績書には担当者名の記載されていないものが多く統一を欠くので本索引では担当者名の記載されていないものが多く統一を欠くので本索引では担当者名の記載を省略した。

担当者名を知る場合は各年度の試験成績書を参照のこと。

- 3 分類基準を次のようにした。

### (1) 試験場別

A M (アマゾンヤ熱帯農業総合試験場)

P A (パラグアイ農業総合試験場)

A P (河上 アルトパラナ分場)

S J (サンフアン試験農場)

N E (スエハエスベランサ畜産試験農場)

A N (アルゼンティン園芸センター)

### (2) 年度別

### (3) 事項別

農	学	.....	1		
農	業	経	営	.....	2
農	芸	化	学	.....	3
農	業	工	学	.....	4
養	蚕	.....	5		
畜	産	.....	6		
林	学	.....	7		
そ	の	他	.....	8	

第二トメアス試験農場試験成績書

年 度	索 引 番 号	試 験 課 題
昭 42	1-67-AM-001	ビメンタ施肥試験(第1年度)
	1-67-AM-002	ビメンタの肥料要素欠乏試験(第1年度)
	1-67-AM-003	ビメンタの施肥基準量決定試験(三要素試験)(第1年度)
	1-67-AM-004	生育環境の醸成とビメンタの仕立法別栽植試験(第1年度)
	1-67-AM-005	ビメンタの森林撫育型植栽試験(第1年度)
	1-67-AM-006	ビメンタの根系発達試験(第1年度)
	1-67-AM-007	ビメンタの開放型植栽法試験(第1年度)
	1-67-AM-008	ビメンタの主茎折返法試験(第1年度)
	1-67-AM-009	ビメンタの整枝剪定法試験(第1年度)
	1-67-AM-010	バニラ植栽試験(第1年度)
昭 43	1-68-AM-J22	ビメンタの施肥試験(第2年度)
	1-68-AM-023	ビメンタの肥料要素欠乏試験(第1年度)
	1-68-AM-024	ビメンタの施肥基準量決定試験(三要素試験)(第1年度)
	1-68-AM-025	生育環境の醸成とビメンタ仕立法別栽植試験(第1年度)
	1-68-AM-026	ビメンタの底腐度試験(第1年度)
	1-68-AM-027	ビメンタ開放型植栽法試験
	1-68-AM-028	ビメンタの根系発達試験(第1年度)
	1-68-AM-029	ビメンタの主茎折返法試験(第2年度)
	1-68-AM-030	ビメンタの整枝剪定法試験(第2年度)
	1-68-AM-031	ビメンタの森林撫育型植栽試験(第2年度)
	1-68-AM-032	ビメンタの肥料葉面散布試験(第1年度)
	1-68-AM-033	ビメンタの繁殖育苗法試験(第1年度)
	2-68-AM-034	ビメンタ圃場に対するトラクターの経済的利用試験(第1年度)
	1-68-AM-035	バニラ植栽試験(第2年度)
	1-68-AM-036	ゴム品種試験(第1年度)
	昭 44	1-69-AM-057
1-69-AM-058		胡椒の底腐度試験(第2年度)
1-69-AM-059		胡椒の開放型植栽法試験
1-69-AM-060		生育環境の醸成と胡椒の仕立法別試験(第3年度)

第二トメアス試験農場試験成績書

年度	索引番号	試験課題
昭 44	1-69-AM-061	胡椒ウイルス病の汁液接種試験
	1-69-AM-062	胡椒の品質向上に関する試験
	1-69-AM-063	胡椒根系調査について
	1-69-AM-064	護謄品種試験(第2年度)
	1-69-AM-065	バニラの植栽試験(第3年度)
昭 45	1-70-AM-082	胡椒の施肥法試験(第4年度)
	1-70-AM-083	胡椒の庇陰度試験(第3年度)
	1-70-AM-084	胡椒の開放型植栽法試験(第4年度)
	1-70-AM-085	胡椒の整枝剪定試験(第4年度)
	1-70-AM-086	胡椒の開放交叉型仕立法に関する試験
	1-70-AM-087	胡椒の要素欠乏症に関する試験
	1-70-AM-088	胡椒ウイルス病と地補植試験(第1年度)
	1-70-AM-089	胡椒ウイルス病汁液接種試験
	1-70-AM-090	胡椒ウイルス病のアブラムシによる媒介接種試験
	1-70-AM-091	胡椒ウイルス病の接木によるアストについて
	1-70-AM-092	胡椒胸枯病に対するHINOKITIOLの効果に関する予備テスト
	1-70-AM-093	胡椒挿穂苗のNEANTINA(USPRUM)による処理に関する試験
	1-70-AM-094	護謄品種試験(第3年度)
	1-70-AM-095	バニラの植栽試験(第4年度)
	1-70-AM-096	丁字の植栽試験(第1年度)
	1-70-AM-097	胡椒胸枯病の一処理法について(考察)
	1-70-AM-098	ジャンパー(きばなおらんたせんいち)の病虫害について(考察)
	1-70-AM-099	胡椒の根腐病耐病性品種選抜について(考察)
	昭 46	1-71-AM-109
1-71-AM-110		胡椒の開放交叉型仕立法に関する試験
1-71-AM-111		ウイルス病と地補植試験(第2年度)
1-71-AM-112		胡椒ウイルス病汁液接種試験
1-71-AM-113		胡椒ウイルス病のアブラムシによる媒介接種試験成績書
1-71-AM-114		胡椒根腐病抵抗性品種選抜について(第2年度)



第二トメアス試験農場試験成績書

年度	索引番号	試験課題
昭 46	1-71-AM-115	胡椒胴枯病に対する殺菌剤の効果に関する試験(第1年度)
	1-71-AM-116	丁字の植栽試験(第2年度)
	1-71-AM-117	ゴム品種試験(第4年度)
	1-71-AM-118	胡椒の根系発達について
	1-71-AM-119	胡椒のネマトーダについて
	1-71-AM-120	バニラの調製について
	昭 47	1-72-AM-147
1-72-AM-148		胡椒の短支柱密植栽培試験(第1年度)
1-72-AM-149		エリトリーナによる胡椒の庇蔭栽培試験(第1年度)
1-72-AM-150		胡椒根腐病抵抗性種の選抜について(第3年度)
1-72-AM-151		胡椒胴枯病に対する殺菌剤の効果に関する試験(第2年度)
1-72-AM-152		胡椒ウイルス病汁液接種試験
1-72-AM-153		胡椒ウイルス病寄生菌探索に関する試験
1-72-AM-154		丁字の植栽試験(第3年度)
1-72-AM-155		ゴム品種試験(第5年度)
昭 48		1-73-AM-171
	1-73-AM-172	胡椒の短支柱密植栽培試験(第2年度)
	1-73-AM-173	エリトリーナによる胡椒の庇蔭栽培試験(第2年度)
	1-73-AM-174	胡椒根腐病抵抗性種の選抜について(第4年度)
	1-73-AM-175	胡椒病害に対する殺菌剤の防除効果に関する試験(第1年度)
	1-73-AM-176	胡椒の線虫防除試験(第1年度)
	1-73-AM-177	胡椒根腐病に対する農薬の防除効果について(第1年度)
	1-73-AM-178	胡椒病害に対する BENLATE の土壌消毒効果試験(第1年度)
	1-73-AM-179	胡椒の根系発達に関する試験
	1-73-AM-180	丁字の植栽試験
	1-73-AM-181	グアラナの栽培適応試験(第1年度)
	1-73-AM-182	カカオ栽培試験(第1年度)
	1-73-AM-183	牧草優良品種選定試験(第1年度)

第二トメアス試験農場試験成績書

年 度	索引番号	試 験 課 題
昭 49	1-74-AM-208	胡椒の短支柱密植栽培試験(第3年度)
	1-74-AM-209	胡椒根腐病抵抗性種選抜試験(第5年度)
	1-74-AM-210	木酢液利用による胡椒根腐病防除に関する研究
	1-74-AM-211	胡椒病害に対するBENLATEの土壤消毒効果試験(第2年度)
	1-74-AM-212	胡椒の森林内植栽試験
	1-74-AM-213	胡椒の根系発達に関する試験
	1-74-AM-214	胡椒の病害に対するBENLATE, CERCOBIN M70の濃度別薬剤撒布による防除効果試験(第1年度)
	1-74-AM-215	原始林内バニラ植栽試験
	1-74-AM-216	メキシコ種バニラの収量、調整試験
	1-74-AM-217	胡椒根腐病、胴枯病、ネコブ線虫防除効果試験

アマゾン熱帯農業総合試験場試験成績書

昭 51	1-76-AM-266	病原菌の分離
	1-76-AM-267	胡椒病害(根腐病、枝枯病)に対するペノミル剤の土壤消毒効果試験
	1-76-AM-268	胡椒園におけるイネ科植物の雑草及び対抗植物の草生によるネコブセンチュウ密度抑制に関する試験
	1-76-AM-269	対抗植物の利用によるコショウ園の線虫密度抑制に関する試験
	1-76-AM-270	胡椒に寄生するサノマイモノコブセンチュウの非寄生植物の探索
	1-76-AM-271	胡椒のネコブセンチュウ防除費因試験(その1)
	1-76-AM-272	胡椒のネコブセンチュウ防除費因試験(その2)
	1-76-AM-273	胡椒根腐病耐病性種選抜試験
	1-76-AM-274	優良雑草素材の選定に関する試験(30年)販1生育、収量比較試験
	1-76-AM-275	雑草の土壤環境に及ぼす影響に関する試験
	1-76-AM-276	胡椒系統比較試験
	1-76-AM-277	カカオ栽培試験(第1年度)
	1-76-AM-278	マラクシヤ選抜試験

アマゾン熱帯農業総合試験場試験成績書

年 度	索 引 番 号	試 験 果 実
昭 51	1-76-AM-279	マラクシヤのCOLTAR RCT 防除試験
	1-76-AM-280	マンジョカ品種の特性調査に関する試験
昭 52	1-77-AM-310	病原菌に関する試験
	1-77-AM-311	胡椒根腐病耐病性株選抜試験
	1-77-AM-312	放射線量カコンョウの種子種苗の発芽に及ぼす影響
	1-77-AM-313	生育収量比較試験
	1-77-AM-314	分解に対する牧草としての耐久性比較試験
	1-77-AM-315	牧草下の土壌水分温度測定
	1-77-AM-316	牧草施与量がコンョウの生育、収量に及ぼす影響
	1-77-AM-317	牧草と施肥がコンョウの生育、収量に及ぼす影響
	1-77-AM-318	コンョウの要素欠乏に関する試験(新規)
	1-77-AM-319	耕種法としての土壌管理技術単位の役割査定試験
	1-77-AM-320	胡椒系統比較試験
	1-77-AM-321	カカオ栽植試験(第2年度)
	1-77-AM-322	ガラナの幼木期管理法に関する試験
	1-77-AM-323	優良系統の選抜増殖
	1-77-AM-324	オイルパーム 適応性検定に関する試験
	1-77-AM-325	マンジョカ品種の特性調査に関する試験
	1-77-AM-326	マンジョカ品種ネコフセンチュウ寄生性に関する試験
1-77-AM-327	台湾より導入された大豆22品種の試作	

イグアス試験農場試験成績書

昭 43	1-68-PA-037	牧草適良品種選定予備試験
	6-68-PA-038	放牧牛について若干の考察
	1-68-PA-039	試験並ひに展示用に栽培中の作物について
	1-68-PA-040	主要種苗の導入実績
昭 44	1-69-PA-066	新規導入牧草の栽培試験

イグアス試験農場試験成績書

年 度	索 引 番 号	試 験 課 題
昭 44	4-69-PA-067	牧野造成 試験成績
	4-69-PA-068	モンテ牧野造成試験(中間報告)
	4-69-PA-069	畜産センター排水溝の効果について
昭 46	6-71-PA-121	サンタヘルトルーデス種発育増体調査
	1-71-PA-122	牧草 栽培試験
	1-71-PA-123	雑穀栽培試験
	3-71-PA-124	豚肉加工試験
	1-71-PA-125	モンテカフェー栽培試験
	6-71-PA-126	牛体標識の維持試験
	6-71-PA-127	豚畜防疫上におけるプログラム編成について
	6-71-PA-128	放牧牛の流産症と奇型児発生原因の対策と考察
	1-71-PA-129	ホーキモロコシ栽培試験

バラグアイ農業総合試験場試験成績書

昭 47	6-72-PA-156	哺乳期におけるサンタヘルトルーデスの増大量について
	5-72-PA-157	桑の活着生育試験
昭 48	6-73-PA-184	哺乳期におけるサンタヘルトルーデス種牛の増体量調査 (第3年度)
	1-73-PA-185	エンファンテグラスの収量調査(第1年度)
	1-73-PA-180	ナーラロンア地帯における肥料試験
	1-73-PA-187	スパビア栽培試験
昭 49	1-74-PA-218	小麦の品種試験
	1-74-PA-219	パ国ナーラロンア地帯における肥料試験
	1-74-PA-220	スパビア栽培試験
	1-74-PA-221	小麦の品種試験
	1-74-PA-222	パ国ナーラロンア地帯における肥料試験

バラグアイ農業総合試験場試験成績書

年度	索引番号	試験課題	
昭 49	1-74-PA-223	ステビア栽培試験	
昭 50	6-75-PA-238	サンタヘルトルーデス極肥育増体調査	
	6-75-PA-239	燕麦草地でのサンタヘルトルーデス極肥育・増体調査	
	6-75-PA-240	青刈とうもろこしによるサイレーシ調製試験	
	1-75-PA-241	大豆の品種試験	
	1-75-PA-242	とうもろこしの磷肥効果試験	
	1-75-PA-243	大豆の青立症状の原因究明に関する調査	
	1-75-PA-244	桑の発芽ならひに発育に関する調査	
	1-75-PA-245	春切桑収穫回数と収量に関する試験	
	1-75-PA-246	年間桑収穫回数と収量に関する試験	
	1-75-PA-247	春切時期、伐採方法と春蚕期桑収量比較試験	
	1-75-PA-248	稚蚕用桑の仕立採葉法に関する試験	
	5-75-PA-249	蚕品種比較試験	
	5-75-PA-250	現地桑、日本桑による養蚕飼育比較試験	
	5-75-PA-251	屋外飼育試験	
	5-75-PA-252	1日2回給桑試験	
	昭 51	1-76-PA-281	夏型牧草の刈取収量試験
		5-76-PA-282	桑葉によるサイレーシ調製試験
1-76-PA-283		桑収穫用具調整法とマチュテの収性の発芽発育比較調査	
1-76-PA-284		高根刈仕立の摩低幹仕立改良に関する試験	
1-76-PA-285		日本桑の挿木可能品種選定に関する調査	
1-76-PA-286		中間伐採の時期に関する試験	
1-76-PA-287		中間伐採の程度に関する試験	
1-76-PA-288		春切桑の年間収量の推移に関する試験	
1-76-PA-289		桑の発芽ならひに発育に関する調査	
5-76-PA-290		現地桑と日本桑との飼料価値比較試験	
5-76-PA-291		飼育施設簡易化に関する試験(Ⅰ)	
5-76-PA-292		飼育施設簡易化に関する試験(Ⅱ)	
5-76-PA-293		給桑回数節減に関する試験	

バラグアイ農業総合試験場試験成績書

年 度	索 引 番 号	試 験 課 題
昭 51	1-76-PA-294	大豆品種比較試験
	1-76-PA-295	大豆品種予備選抜試験
	1-76-PA-296	イグアス地区のゴマ栽培について
昭 52	1-77-PA-328	夏型牧草の刈取収量試験
	6-77-PA-329	放牧地に於ける底感処理効果に関する試験
	6-77-PA-330	牛体内に於ける内部寄生虫卵の調査
	6-77-PA-331	刈取牧草に対する嗜好性に関する試験
	6-77-PA-332	青刈トウモロコシによるサイレーン調製試験
	1-77-PA-333	日本桑の挿木可能品種選定に関する調査
	1-77-PA-334	桑の発芽ならびに発育に関する調査
	1-77-PA-335	収穫時の残桑の長さおよび収量に関する試験
	1-77-PA-336	春切桑の年間収量の推移に関する試験
	1-77-PA-337	古桑利用に関する試験
	2-77-PA-338	桑収穫の人員別、器具別、仕立別、能率調査(予備調査)
	1-77-PA-339	中刈仕立の極低幹仕立改良に関する試験
	1-77-PA-340	極低幹仕立の栽植密度に関する試験
	1-77-PA-341	稚蚕専用仕立桑の年間収量推移に関する試験
	5-77-PA-342	飼育施設簡易化に関する試験(その1 屋外飼育試験)
	4-77-PA-343	裸地における傾斜度別土壌流出量調査(第1報)
	1-77-PA-344	大豆品種比較試験
	1-77-PA-345	挿木繁殖試験(ステビア)
	1-77-PA-346	ステビア種子発芽試験
	1-77-PA-347	挿芽苗による定植期別生育試験
	1-77-PA-348	株分法による移植株の生育試験
1-77-PA-349	小麦耐病性試験	

アルトバラナ試験農場試験成績書

年度	索引番号	試験課題
昭 42	1-67-AP-011	コマ適品種選定予備試験
	6-67-AP-012	豚人口授精 <sup>ニ</sup> について
	1-67-AP-013	桑生育調査報告
	1-67-AP-014	日本種桑の増殖調査
	1-67-AP-015	収葉調査
	1-67-AP-016	養蚕飼育報告
	1-67-AP-017	綿根 <sup>ニ</sup> 咬虫について
昭 43	1-68-AP-041	大豆品種特性調査
	1-68-AP-042	コマ適品種選定試験
	1-68-AP-043	ゴマ栽培の労力調査
	1-68-AP-044	マリス品種特性調査
	1-68-AP-045	水稻品種特性調査
	1-68-AP-046	ナタネ適品種選定予備試験
	6-68-AP-047	1968年度アルトバラナ地区人工授精 <sup>ニ</sup> 成績報告
	6-68-AP-048	豚のF1(LD)肥育調査
	5-68-AP-049	桑の生育並びに飼育調査
昭 44	1-69-AP-070	大豆品種収量特性調査
	1-69-AP-071	早生大豆特性調査
	1-69-AP-072	コマ特性並びに収量調査(第2年度)
	1-69-AP-073	ナタネ適品種選定試験(第2年度)
	1-69-AP-074	水稻特性予備調査
昭 45	1-70-AP-100	大豆の品種別播種適期及び収量試験
	5-70-AP-101	蚕品種比較飼育試験
	1-70-AP-102	水稻の品種試験
	1-70-AP-103	ひまわりの収量、収穫方法、含油 <sup>キ</sup> 率調査
	1-70-AP-104	ナタネの耐病性収量試験
	1-70-AP-105	胡麻収量試験

アル、ノ、ア、試験環境試験紙書

号	系	番	試	験	出	題		
48	1	71 AP 181	春	播	種	選	定	試験
		72 AP 182	秋	播	種	選	定	試験
		73 AP 183	春	播	種	選	定	試験
		74 AP 184	秋	播	種	選	定	試験
		75 AP 185	春	播	種	選	定	試験
		76 AP 186	秋	播	種	選	定	試験
49	1	77 AP 187	春	播	種	選	定	試験
		78 AP 188	秋	播	種	選	定	試験
		79 AP 189	春	播	種	選	定	試験
		80 AP 190	秋	播	種	選	定	試験
		81 AP 191	春	播	種	選	定	試験
		82 AP 192	秋	播	種	選	定	試験
		83 AP 193	春	播	種	選	定	試験
		84 AP 194	秋	播	種	選	定	試験
49	1	74 AP 224	春	播	種	選	定	試験
		74 AP 225	秋	播	種	選	定	試験
		74 AP 226	春	播	種	選	定	試験
		74 AP 227	秋	播	種	選	定	試験
		74 AP 228	春	播	種	選	定	試験
		74 AP 229	秋	播	種	選	定	試験
		74 AP 229	春	播	種	選	定	試験



アルトバラナ試験農場試験成績書

年度	索引番号	試験課題
昭 50	1-75-AP-253	小麦品種選抜試験
	1-75-AP-254	亜麻品種選抜試験

パ農総試アルトバラナ分場試験成績書

昭 51	1-76-AP-297	大豆の早晚生別播種適期試験
	1-76-AP-298	大豆の栽植密度試験
	1-76-AP-299	大豆諸品種の予備選抜
	1-76-AP-300	第一選抜試験
	1-76-AP-301	CERCONIL 散布が大豆の生育と収量に及ぼす影響について
	1-76-AP-302	大豆の肥料効果試験
	1-76-AP-303	小麦の耐病性調査
	1-76-AP-304	殺菌剤効果試験
昭 52	1-77-AP-350	大豆の肥料効果試験
	1-77-AP-351	大豆予備選抜試験
	1-77-AP-352	大豆第一選抜試験
	1-77-AP-353	HAMPTON の栽植密度試験
	1-77-AP-354	大豆の分類とその生態的特性に関する調査
	1-77-AP-355	大豆品種の分類に関する調査
	1-77-AP-356	大豆の耐虫性調査(その1)嗜好性調査)
	1-77-AP-357	小麦の予備選抜
	1-77-AP-358	小麦第一選抜試験

サンフアン試験農場試験成績書

昭 42	1-67-SJ-018	米の品種試験
	1-67-SJ-019	水稻品種試験
	6-67-SJ-020	肉牛の飼育試験

サンファン試験農場試験成績書

年度	索引番号	試験課題
昭 42	1-67-SJ-021	牧草に関する試験
昭 43	1-68-SJ-050	陸稲の品種試験
	1-68-SJ-051	陸稲の肥料試験(予備試験)
	1-68-SJ-052	水稻品種試験
	1-68-SJ-053	水稻直播試験
	1-68-SJ-054	牧草品種試験
	1-68-SJ-055	七島い栽培試験
	6-68-SJ-056	肉牛の飼育試験
昭 44	1-69-SJ-075	陸稲の品種試験
	1-69-SJ-076	陸稲の肥料試験
	1-69-SJ-077	水稻品種試験
	1-69-SJ-078	水稻直播試験
	1-69-SJ-079	七島い栽培試験
	1-69-SJ-080	牧草栽培試験
	6-69-SJ-081	肉牛飼育試験
昭 45	1-70-SJ-106	陸稲の品種試験
	1-70-SJ-107	大豆の品種試験
	1-70-SJ-108	冬作大豆試験(予備)
昭 46	1-71-SJ-136	冬作大豆品種別播種適期試験
	1-71-SJ-137	大豆品種試験
昭 47	1-72-SJ-165	大豆の優良品種試験
昭 48	1-73-SJ-195	大豆品種別比較試験
	1-73-SJ-196	陸稲品種比較試験
	1-73-SJ-197	とうもろこし比較試験
	1-73-SJ-198	除草剤試験

サンファン試験農場試験成績書

年度	索引番号	試験課題
昭 48	1-73-SJ-199	桑の生育収量調査
	5-73-SJ-200	養蚕試験
昭 49	1-74-SJ-230	稲の品種試験
	1-74-SJ-231	水稻の品種試験
	1-74-SJ-232	稲の施肥試験
	1-74-SJ-233	大豆の品種及び播種適期試験
	1-74-SJ-234	とうもろこし品種試験
	1-74-SJ-235	桑栽培試験
	1-74-SJ-236	マカダミアノナツンの特性、収量調査
	1-74-SJ-237	パイナップル催花剤処理試験
昭 50	1-75-SJ-255	陸稲の品種試験
	1-75-SJ-256	水稻の品種試験
	1-75-SJ-257	稲の施肥試験
	1-75-SJ-258	大豆の品種及び播種適期試験
	1-75-SJ-259	とうもろこし品種試験
	1-75-SJ-260	とうもろこし交配試験
昭 51	1-76-SJ-305	生育状況、草型等からみた適性の比較
	1-76-SJ-306	収量、含仁率、ナツンの形状についての比較
	1-76-SJ-307	収量及び特性についての調査
昭 52	1-77-SJ-359	陸稲品種比較試験(収量及び特性についての調査)
	1-77-SJ-360	大豆品種比較試験(収量及び特性についての調査)

ヌエバエスベランサ畜産試験農場試験成績書

年度	索引番号	試験課題
昭 47	1-72-NE-166	綿作試験
	1-72-NE-167	生育調査
	1-72-NE-168	摘芯の効果判定試験
	1-72-NE-169	落葉剤の効果試験
昭 48	1-73-NE-201	綿の品種比較試験
	1-73-NE-202	綿の肥料比較試験
	1-73-NE-203	綿の除草剤比較試験
	1-73-NE-204	綿の落葉剤効果試験
	1-73-NE-205	綿の摘芯効果試験
	1-73-NE-206	綿畝間休間比較試験
	1-73-NE-207	綿の播種期別収量比較試験
昭 50	1-75-NE-261	綿の灌概試験
	1-75-NE-262	綿の施肥試験
	1-75-NE-263	綿の成長抑制剤効果試験
	1-75-NE-264	大豆の灌概試験
	1-75-NE-265	牧草生育収量調査
昭 51	1-76-NE-308	綿産数試験
	6-76-NE-309	牧草10品種の飼養頭数比較
昭 52	1-77-NE-361	牧草の品種比較に関する試験
	1-77-NE-362	綿の品種比較に関する試験
	1-77-NE-363	綿に対する施肥および牧草に関する試験

特 別 試 験 試 験 報 告 書

年 度	索 引 番 号	支 部 名	試 験 講 題
昭 46	1-71-SP-138	サノパウロ	防霜対策試験
	1-71-SP-139		低地硬度調査
	1-71-SP-140		泥炭地における酸度矯正試験
	1-71-SP-141		白濁桐試作報告
	1-71-SP-142		マカダミアナッツ試作報告
	1-71-SP-143		い草試作報告
	1-71-SP-144		水稲除草剤試験
	1-71-SP-145		水稲苗立枯病防除試験
	1-71-SP-146		田植機共用化試験
昭 47	1-72-AE-170	ブエノスアイレス	アノデス移住地塩害試験報告





